

平成28年6月28日亀岡市教育委員会会議録

- 1 開会 午後 3時30分
閉会 午後 4時30分

2 出席委員

田 中	教育長
関	教育長職務代理者
吉 岡	委 員
江 口	委 員
若 本	委 員

3 欠席委員

な し

4 出席事務局職員

山 本	教 育 部 長
白波瀬	次長兼総括指導主事
吉 村	教育総務課長
土 岐	学校教育課長
河 原	社会教育課長兼中央公民館長
大 西	社会教育課人権教育担当課長
難 波	教育研究所長
永 田	学校給食センター所長
内 藤	図書館長
黒 川	文化資料館長
中 川	教育総務課副課長兼総務係長事務取扱

5 傍聴者

なし

6 議事の概要

(1) 開会

○教育長が開会を宣言。

(2) 前回会議録の承認

平成28年5月25日に開催した定例会の会議録について一部文言修正を行い承認した。

(3) 教育長からの報告

○教育長から以下の報告があった。

◎亀岡市関係

- ・ 5月27日に亀岡市自治委員会議が行われた。自治会長に本年度の市の状況を説明し、各委員から行政に対する質問や要望等を受けたり意見交換を行う機会であった。教育関係では、教育基本計画や学校規模適正化、中学校給食、登下校の安全対策について説明した。
- ・ 国際ソロプチミスト亀岡スポーツクラブ認証式が5月28日に行われた。東輝中学校吹奏楽部の活躍を応援したいという趣旨で寄附をいただけることとなった。
- ・ 上田正昭先生を偲ぶ会が5月31日亀岡市主催で行われ、多くの方が参列された。
- ・ 6月1日には、第1回の中学校給食のあり方検討委員会が開催された。府内の市町の状況や本市の学校給食センターの状況の説明を行うとともに、保護者・生徒へのアンケートについて審議いただいた。
- ・ 6月2日の学校規模適正化地域別推進協議会については、亀岡市教育委員会として考えている方向性を示して議論していただいた。
- ・ 6月4日に亀岡市中学校陸上競技選手権大会が亀岡運動公園で開催された。男女とも東輝中学校が優勝した。全国大会に出場できるような記録も生まれた。
- ・ 6月6日から6月23日まで市議会6月定例会が開かれた。一般質問では学校規模適正化の取組等について多くの議員から質問をいただいた。
- ・ 平成29年成人式第1回実行委員会は各中学校から2名の卒業生を学校推薦していただき、公募委員の数名加え6月9日に実行委員会が組織された。これから1月に向けて取り組んでいくことになった。
- ・ 学校支援地域本部実行委員会の亀岡中学校ブロック会議が6月22日に実施された。
- ・ 6月24日に千代川町から地域こん談会がスタートした。

◎国・府等の関係

- ・ 6月18日に口丹波中学校陸上競技選手権大会が亀岡運動公園で開催され、男女とも東輝中学校が優勝した。

(4) 議 事

議案番号	件 名
第 3 号議案	亀岡市図書館協議会委員の委嘱について
第 4 号議案	第 26 期亀岡市文化財保護委員会委員の委嘱について

○第 3 号議案について教育部長が議案説明を行った。

- ・第 3 号議案について、図書館協議会は図書館法に定められており、図書館の運営に関して、館長の諮問に応じるとともに意見を述べる機関として設置している。委員の定数は 10 人以内、任期は 2 年としており、7 月に任期を迎えることから、6 人の委員を選出するため教育委員会の同意を求めるものである。男女比は 3 人対 3 人で年齢は概ね 60 歳前後、新規 2 名、再任 4 名である。

○説明を受け、委員から次の質問・意見があった。

委 員 再任は何期までという定めはあるのか。

事務局 再任は何期でも可能である。

○第 3 議案について原案どおり承認した。

○第 4 号議案について教育部長が議案説明を行った。

- ・第 4 号議案は、教育委員会の諮問に応じ、文化財の保存及び活用に関する専門的及び技術的事項を調査審議するために設置しているもので、委員定数は 15 人以内、任期は 2 年としている。委員 12 人を選任するため、教育委員会の同意を求めるものである。女性が 3 名、男性が 9 名、新規が 3 名である。

○説明を受け、委員から次の質問・意見があった。

委 員 女性が少ないのは、分野的に人材が見つからないためか。

事務局 そのとおり。5 割を目標にしているが、現状は難しい。

○第 4 議案について原案どおり承認した。

(5) 報告事項

- ①学校規模適正化地域別推進協議会及びブロック協議会について
- ②平成28年度京都府小中学校学力診断テスト結果について
- ③平成28年度家庭教育支援事業の実施について
- ④放課後児童会入会児童保護者アンケートの実施について
- ⑤亀岡市社会教育委員について
- ⑥文化資料館 第61回企画展について
- ⑦保津川の歴史を探る筏流しに関する事業について
- ⑧平成28年度7月8月の教職員研修講座について

○教育長報告及び各課長等からの報告を受けて、委員から次の質問・意見があった。

<学校規模適正化地域別推進協議会及びブロック協議会について>

委 員 どのような資料内容か。

事務局 これまでの経過を共有するため、亀岡市教育振興基本計画の内容を説明し、その中に学校規模適正化を進めていくことが盛り込まれており、その方向性で進めていることを説明した。次に学校規模適正化基本方針の内容を説明した。その中に方向性や選択肢を示しているが、十分に内容まで伝わっていない部分もあったことから、改めて全員で内容を確認した。そして、基本方針に沿った教育委員会の計画案を示した。計画案については、概ね理解をしていただいたが、説明会をしっかりとやってほしい等の意見がでた。

委 員 関係者からは方向性は理解できるが、進め方に気を付けてほしいという意見か。

事務局 そうした意見のほかにスクールバスの運行や特認校としての特色ある取組内容などについての意見が出た。

委 員 特認校の具体的な特色はまだ決まっていないのか。

事務局 各学校に取組を進めていただいている。東別院小はコミュニティスクールを導入し、地域とともに自然体験学習やソバ作り等で、西別院小は起業家育成というカリキュラムがあり、特産物作り等の取組を展開している。

委 員 教育委員会の計画案について疑問や強行に進めているなど意見はなかったか。

事務局 別院中学校と東別院小学校と西別院小学校の小中一貫校はなぜだめなのかという意見はあった。

委員 小中一貫校にしても見通しが見つからないということか。

事務局 現状では仮に小中一貫校にしても、全体で50人程度の規模にとどまることから、小中一貫校の効果が出しにくい。まずは特認校を導入して児童を増やす努力をしたい。

委員 方向性への理解等は地元自治会やPTAはどのような状況か。

事務局 東西別院については、自治会や地域は概ね了解いただいていると思っているが、PTAの中には南桑中学校への編入について心配や不安を抱かれているようである。その点へのサポートについての意見がある。

委員 転校になるのか。

事務局 そうである。

教育長 いきなり転校するのではなく、統合のためのプログラムを作り、事前に行事等で交流をする機会を作るよう学校長にはお願いしている。

事務局 一定の準備期間が必要なことから、別院中学校の南桑中学校への編入は平成30年度からとしている。

委員 別院中学校の校長からは懸念はなかったのか。

事務局 できるだけスムーズに送り出すために、交流事業を行うなど準備期間がほしい。また閉校式を行い円滑に進めさせてほしいとのことである。

教育長 別院中学校の校長も限界は感じている。クラブの数も少なく、成績面でも課題があるので、生徒の覇気が上がらないとのことである。

<平成28年度京都府小中学校学力診断テスト結果について>

委員 府内の平均点が高い市と比較してどれくらい差があるのかを出していくべき。

事務局 京都府では教育局別のものは出している。市町村では、京都府内で公表している市が少ないため、比較しにくい。

教育長 学校には、学校毎と府の平均を示したものが届いているので、学校はそれぞれで分析をしっかりとやってほしいとお願いしている。

委員 学校規模によって取り組み方も異なると思うが、小学校で学級間によって格差が生じているときは、学校としてどのような対策を講ずるべきか、より効果的な取り組みを検討していく必要がある。なにより、担任が年度末に結果を把握できるよう取り組みを考える必要がある。

委員 自己肯定感が低くなっている子どもが小学生から中学生になるにつれて多くなっている。自分に自信がないと何もできないので、学校や教育委員会で取り組みを考えていかなければならない。大学の例であるが、プレゼンテーションの課題を出すと、課外でリハーサルをよく行い、勉強する時間が増えるそうだ。教育委員会も具体的な例を出していったほうがいい。

事務局 小学校であれば、家庭学習する上で家庭の協力が絶対に必要で、例えば国語の漢字ノート、自主学習ノート、音読カードそれぞれでやっていたものを1冊にまとめて作成し、最後に保護者がみてハンコを押すという学校もある。特に効果が上がっている学校のリサーチをして、その取り組みを返していくようにしたい。

<平成28年度家庭教育支援事業の実施について>

<放課後児童会入会児童保護者アンケートの実施について>

<亀岡市社会教育委員について>

委員 もし、19時まで延長することになったら、学校内で開設している場合には、教職員が帰りにくくなるのではないかと。

委員 19時まで学校に子どもを預かることが家庭的にみて本当に良いのか疑問である。

教育長 保育所が18時半まで預かっているの、ニーズを聞きたい。

委員 指導員や支援員は、広報紙以外ではどのような募集をしているのか。

事務局 支援員の資格としては、幼・小・中等の教員免許、保育士の資格があるか補助員として2年以上の経験があればよいので、多くは、補助員を経験されて、こちらからお願いして支援員になっていただいている。十年近く経験がある方がほとんどで、最近公募を始めて増えてきている状況にある。

教育長 公募で集まらない場合は、退職教員にも声かけしたい。

委 員 負担金はいくらなのか。

事務局 一月5千円であるが、日数の多い8月は8千円、3月・4月は6千円と日数によって異なる。

<保津川の歴史を探る筏流しに関する事業について>

委 員 筏は何人乗れるのか。

事務局 昨年が中止だったので、一昨年を例とすると人数は、3連で300人から400人くらい。今年も300人前後を考えている。

(6) その他

- ①平成28年度第1回教育委員会委員学校訪問について
- ②平成28年度地域こん談会の日程について

次回の定例教育委員会を平成28年7月26日に、次々回は平成28年8月22日に開催することとした。

(7) 閉会

○教育長が閉会を宣言

以 上